

EVスポーツカーの 製造などで モノづくりの「夢」を 届けます

強みは特殊金属の加工技術

市長 まず初めに御社では、どのような分野を得意とされているのでしょうか。

小阪会長(以下敬称略) ステンレス鋼・アルミを主に、チタンなどの特殊金属の加工を得意としています。それらの金属を使用したさまざまな設備機器の設計・製作と組み立て・試運転などを行っています。

市長 特殊金属の加工技術を得意とされているんですね。製造されている機器を具体的に教えてください。

小阪 化学プラント機器を主に扱っています。また、生ごみ処理機や貝殻乾燥機などの環境機器、食品機器、医薬機器、福祉関連機器など取り扱い機種は多岐にわたります。

市長 取引先も多岐にわたるのですか。

小阪 そうですね。都市部の大手企業がほとんどで、舞鶴市の基幹産業である造船関係の企業や海事関係機関などの仕事も頂いています。

市長 御社の「ものづくりの強み」は何ですか。

小阪 私たちの「ものづくり」の基本技術は「溶接」と考えています。特殊金属の溶接技術を核に、お客様の要望を形にする「品物のものづくり」が強みですね。小さな会社ですが、大手企業並みの高い技術力で、かつ町工場並みの料金でやってくると業界から大きな信用をいただきました。

市長 最近、特に力を入れておられていることは何ですか。

小阪 近年は特に環境分野に力を入れており、佐賀大学の進める「海洋温度差発電」の心臓部である熱交換器を手がけました。また、海洋温度差発電を排熱に適用した「排熱温度差発電」の試作機も当社が作りました。

市長 会社を興そうと思われたきっかけは何ですか。

小阪 当時在籍していた会社から子会社への転籍を求められた時ですね。「企業の生き残りのためには、技術者の転籍も仕方がない」という時代でした。

市長 独り立ちして、仕事ができる自信はありましたか。

小阪 何とかなるという思いだけで、仕事を辞めてから台湾へ3か月間、現地の技術者を養成する仕事の依頼がありました。この仕事で自信を付けたのも、独り立ちをすることを決めたきっかけですね。

市長 採算がとれるようにな



多々見市長

市内で活躍されている「匠」を、市長との対談で紹介する「匠」探訪記。

第5回は、GLM(株)の開発したEVスポーツカーの量産を開始した小阪金属工業(株)の会長 小阪憲一さんです。



Tommykaira ZZ

京都市に本社を持つGLM(株)が開発した国内初のEVスポーツカー。2014年8月から納車を開始した。850キログラムの軽量な車体に300馬力の強力なモーターを搭載し、3.9秒で時速100キロに到達する。1回の充電での航続距離は、約120キロメートル。製造を舞鶴市の小阪金属工業(株)で行っている。 www.glm.jp

会社は小さいけれど、大手企業並みの技術力が武器

K O S A K A K I N Z O K U I N D U S T R Y Co.,LTD.

小阪金属工業株式会社
取締役会長 **小阪 憲一** 氏

会社概要
小阪金属工業株式会社(舞鶴市森)
代表者 代表取締役社長 柳田美樹
創業1989年6月。ステンレス鋼、アルミニウムを主とした特殊金属の設備機器の設計・製作・組立・試運転を手掛ける。




るまでにはどれくらいかかりましたか。
小阪 3年かかりました。信用がないため銀行からお金を貸してもらえなかったのが大変でしたね。その間は家内に養ってもらっていました(笑)。
現在では、「どこからも難しいと断られてきた」と当社に来られるお客様も少なくありません。また、加工筋でやってきて、お客様がお客様を紹介してくれるようになりました。これは本当にありがたいことです。

夢のEVスポーツカーを製造

市長 GLM(株)が開発したスポーツカータイプの電気自動車を製造し、注目されていると伺っています。

小阪 はい。このたび、やっと量産体制に入ることができました。

市長 夢の車の生産が軌道に乗ったのですね。どのような経過で開発プロジェクトが進められたのですか。

小阪 京都市の環境ベンチャー企業として「GLM(株)」が設立され、地域に根差した新たな企業連合による電気自動車産業を創出する目的で、産学公が強力にタッグを組んだビジネスモデルを目指し、EV自動車の開発がスタートしました。その中で、アルミ加工技術を有する当社に声がかかりました。

市長 そのGLM(株)から製造委託の打診があったのですか。

小阪 はい。EVスポーツカーのメインフレームの製作と車両の組み立てに関して請け負うこととなりました。

市長 月に何台の生産をご予定されていますか。

小阪 製造環境は整っていますので、月産8台まで生産台数をあげたいと思っています。

市長 EVスポーツカーを造るのに苦労したことは何ですか。

小阪 苦労は感じたことがありません(笑)。

市長 苦労と感じないだけで、大変なご苦労をされているのでは。

小阪 人から見ればあるのかもしれませんが、「しんどいな」と思えばもう一歩前には進めないで、どんな難しい仕事も情熱を持って取り組むことを心掛けていますね。

市長 車の製造工程の全てを手掛けられているのですか。

小阪 メインフレームの製造から部品の組み付けまで全工程を担っています。このため、完成したときの達成感がありますね。

市長 技術的なことは会長が最前線で行っていただけるのですか。

小阪 ほとんど社員に任せています。社長を先頭に社員が完璧にやってくれます。私は社員を叱るのが仕事ですね。仲良しグループになつてはいけません。はじめが大切だと思っています。

市長 それ以上に立つ人の役割ですね。
小阪 そうですね。社員を叱咤激励し、そして私を早く追い出せと(笑)。早く追い出してくれないと私が楽できない。これは順番で、そこまで育ってくれれば安心できますね。